

## 第 51 回 IRIDeS 金曜フォーラムを開催しました (2018/01/26)

テーマ：東北大学災害科学国際研究所からの情報発信

URL：<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>

平成 30 年 01 月 26 日(金)に東北大学災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホールにおいて、「第 51 回 IRIDeS 金曜フォーラム」を開催しました。IRIDeS 金曜フォーラムとは、当研究所で行われている研究・活動の情報を所内のみならず学内外・一般の方々と広く共有し、研究の連携・融合を図ることを目的に、定期的な発表・討論の場として開催しているものです。本フォーラムでは、主に研究所の教員・スタッフから、各部門・分野での国際的・学際的な研究テーマについて話題提供を行います。

今回は『災害が起きたときに、現場で求められているものは何か』をテーマとして、当研究所 4 名の発表者から、現場での実践的な取組みやそこから得られた知見・展望などについて話題提供がありました。当日は 40 名以上の参加をいただき、活発な議論がなされました。

当日の発表題目は以下の通りです。

1. GB-SARによる地滑りモニタリング技術 — 荒砥沢、南阿蘇での実践から—  
佐藤 源之 (災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野/兼 東北アジア研究センター)
2. 豪雨災害から命を守るために必要な考え方  
森口 周二 (地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野)
3. 公衆衛生学と人工知能解析技術を用いた災害対応  
栗山 進一 (災害医学研究部門 災害公衆衛生学分野)
4. より効果的な復興のために ～必要な備えと実行体制～  
平野 勝也 (情報管理・社会連携部門 災害復興実践学分野)

司会・進行： マス エリック (災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野)  
佐藤 翔輔 (情報管理・社会連携部門 災害アーカイブ研究分野)

次回第 52 回は、2018 年 2 月 23 日 (金) 16:30～ 東北大学 災害科学国際研究所棟 1 階多目的ホールにて『南海トラフ地震の予測可能性と社会対応』をテーマに開催いたします。詳しくは、HP をご覧ください。(<http://irides.tohoku.ac.jp/event/irides-forum.html>)



佐藤源之教授



森口周二准教授



栗山進一教授



平野勝也准教授



会場の様子 (総合討論)

文責：マス エリック (災害リスク研究部門)、佐藤 翔輔 (情報管理・社会連携部門)  
写真：鈴木通江 (広報室)